

コード	20301
作成年度	22年度

## 基本事業評価表

基本事業名称	身近な公園整備
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	こころを癒す公園・広場・緑地の整備

課コード	119	関係課名
主管課名	建築課	

### 基本事業の目的

潤いのある都市空間を形成するよう公園整備を進め、住民が快適で、自然環境と調和した魅力ある場を創出し、安心して暮らせる町づくりを目的とする。

### 基本事業の成果

成果指標名称 1	一人当たりの公園面積(都市公園)	成果指標名称 2	*****
成果指標の積算根拠	都市公園面積÷都市計画区域内人口	成果指標の積算根拠	*****
目標達成年度	平成22年度	目標達成年度	*****
目標達成数値	8㎡	目標達成数値	*****

年 度			H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	単位	㎡	7.0	7.0	7.0	7.0	8.0
	実績 B		㎡	7.0	7.0	8.0	8.0	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	114.0	114.0	
成果指標2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	本町の都市計画区域内一人当たりの公園面積は8㎡(平成21年3月末)。都市公園法施行令による面積の標準は、区域内で10㎡以上、市街地で5㎡以上である。青方地区まちづくり交付金事業による新たな公園(中央公園、港公園、ふれあい公園)整備のほか、毎年的人口減少により、公園面積数値は高くなる傾向にあるが、一部公園施設の経年経過による老朽化が顕著となっている。
	課題	現有する都市公園施設の老朽化については、厳しい財政状況下、維持補修もしくは撤去での対応となっている。都市公園の新たな整備については、都市計画区域内に限られており、都市計画区域の変更はそのメリット、デメリットを勘案し、住民ニーズに対応したものでなければならない。都市計画区域外での整備要望についての対応が難しい状況にある。
	改善	厳しい財政状況下、利用頻度の高い施設への集中投資、徹底したコスト縮減を行うことにより、事業効果の早期発現に努めます。また、住民と協働した公園の計画、整備、管理を推進し、住民の社会参画と維持管理経費の縮減を図りながら、利用者にとって公園がこころを癒す快適空間の場であることを目指す。

2次評価	公園の維持・管理は遊具等の管理不備による事故防止に努め、適正に行うこと。また住民の憩いの場、快適空間の創造に向け整備計画を進めること。なお、都市計画区域外においては財源が許す範囲内において漁港環境整備事業や道路整備事業との関連での整備ができないか検討の余地がある。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。